

今月の泰明 7月

国際理解教室

7月12日（水）に国際理解教室を開催しました。この日は、日本ユニセフ協会の水野真理子様をお招きし、開発途上国の子どもたちの現状やスポーツを楽しむことができる暮らしの大切さについて学びました。

まず、ユニセフは「国連児童基金」といって、150以上の国と地域で、世界中の子どもたちの命と健康を守るために活動している国際機関であることから話が始まりました。開発途上国についての話を聞き、命の危機にさらされているのが自分たちと同じような年の子どもたちだと知り、講堂にいる子どもたちのスクリーンを見る目がすぐさま真剣になりました。

つぎに、シリアの国の子どもたちの、屋根のない洞窟で勉強する様子や、喉を潤すために、透明ではない濁った水を飲む様子等を映してくれました。自分たちの日常とはかけ離れた開発途上国の子どもたちのことを、興味深そうな様子で学んでいました。

つづいて、シリアで実際に使われている水がめを運ぶ体験もできました。シリアでは、土地によってはヒ素等を含むところもあるため、安全な水が出る遠い地域まで行って水がめの中に水を入れて持ち帰ります。その重さや運ぶ距離の大変さを実感することができました。

空爆によって義足になりながらも、パラリンピックを目指すシリアの青年の話も聞くことができました。泰明小の子どもたちは、スポーツを行うことは人権の一つであることを学びました。

国際社会の多様な文化を知り、その国際社会の中に生きる日本人としての自覚と誇りを養うことのできた有意義な時間になりました。

